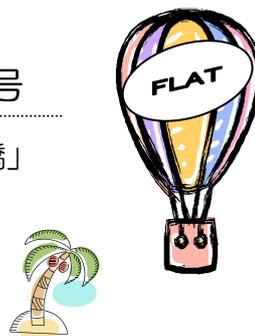


# ふらっと.come!

平成25年 5月10日 第30号

発行者 特定非営利活動法人船橋福祉相談協議会 「ふらっと船橋」  
〒273-0011 船橋市海神1-31-31 ジュネス海神101  
TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776  
HP <http://www1.ocn.ne.jp/~flatcome/>  
Email [flat-funabashi@key.ocn.ne.jp](mailto:flat-funabashi@key.ocn.ne.jp)



## 総合支援法が施行!

船橋市障害福祉課 相談支援係長 松浦 年洋

みなさま、初めまして。相談支援係長の松浦と申します。私は、障害福祉課に配属されて5年目になります。

昨年度は「総合支援法」が施行されるということで、年末から課内プロジェクトを立ち上げ、療育支援課、保健所（保健予防課）とともに、情報収集や市としての対応方針を決めていきました。いろいろと不安はありましたが、まずは、総合支援法が無事に施行されたことに、ほっとしております。

今回の総合支援法の施行では、法律の題名の改正、理念規定の追加、そして障害者の範囲に難病患者等を加えるなど、自立支援法始まって以来の大改正が行われました。

その中でも、難病患者等の追加は、身体障害者手帳の交付がなくても障害福祉サービスの利用を認めていこうという画期的な改正です。今のところ、相談件数はさほど多くはありませんが、今後、国における新たな難病施策の検討において対象疾患等の更なる拡大が見込まれており、障害者施策に与える影響は大きいと思います。

また、平成26年4月の改正においては、障害支援区分の創設、グルホ・ケアホの一元化、重度訪問介護の対象拡大など、もう一つ大きな改正が予定されています。

こうした改正・見直しの結果、今後、障害者の方が必要なサービスを受けられる制度的基盤がより強固なものとなり、ふらっと船橋を中心とした相談支援体制が充実していくことが期待されます。

障害者の方が地域において自立した生活が送れるよう障害福祉課としても、引き続き努力していきたいと思っております。

## 新任の挨拶

ふらっと船橋相談員 笠川 純子

5月から「ふらっと船橋」で相談員をさせていただくことになりました、笠川純子と申します。生まれは東北で、学生時代に千葉県で暮らし、就職で神奈川県へ転居、2年程前に再び千葉県に戻って来ました。千葉県は、第2の故郷と思っています。

以前、神奈川県で相談支援の仕事をさせていただいていました。知的障害の方の相談を担当することが多かったです。2年程ブランクがありますが、縁あって再び相談支援の仕事をさせていただくことになりました。しかし、船橋市については知識が乏しく、地名もこれから覚えていくというのが正直なところです。とても



頼りなく思われてしまうと思いますが、ふらっと船橋では私とは異なる経験や知識のある同僚に恵まれ、同僚また関係機関の皆様の助けをかりながら、早くお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

## 船橋市で働けて良かったです！

相談員 齊藤絹代

以前は、別の圏域で相談員をしていた私ですが、退職をした後に選んだ職場は、ふらっと船橋でした。仲間内からは「何で、体調を崩した時の職に戻るのか？駄目でしょう」と言われもしましたが一方で「船橋市は凄いなだよ！」という声もあり、どんな場所なのかと気合を入れて初めて来たのが平成20年4月の事でした。慣れない満員電車から降りられず、駅のホームを歩けば人が多くて落ちそうになり、通勤途中のスクランブル交差点が渡れず違う方向に流され、帰り道では居酒屋のネオンがキラキラしていて誘惑が多く・・・

いやいや違う、きっとそういう事ではないと思い直し、日々の業務に向き合っていく中で当事者の方や御家族、地域の事業所、行政と接する機会が増えていった時に、何だか皆様が凄くパワフルな事に気付きました。それぞれが違う分野での御活躍ですが、船橋市の障害福祉がより良い方向に向いて行くようにと常に考えておられるのを目の当たりにして、自分が船橋を良くわかっていない人間であるという事を不甲斐無く思った時が幾度もありました。それでも関係する皆様から色々と助言を頂き、何とか今迄、相談業務を続けてくる事が出来ました。

今回、家の事情もあり中途半端な時期に、ふらっと船橋を去ることを寂しく思いますが、この地で沢山、助けて頂いた事に感謝をし、教えてもらった事は大切にして行きたいと思っています。

これまで、お世話になりました事、本当にありがとうございました。

## 敢えて今！

新年度は別れと出会いが付きもの？ふらっと船橋の業務に大きな実績を残してくれた職員が一人事務所を去ることになり、感謝と敬意を表したいと思う。Goodluck！！そして新たに加わり、これからの船橋の相談支援に貢献して頂けたらと期待しております。Welcome！！

さて、ここ数年というか感じている事の一つに「使い分け」を意識している。使い分けと言うと聞こえは悪い？かも知れないが、良くも悪くもこの使い分けがどの場面においても出来ると、行き詰まりが減ることも確かである。

「ON-OFFの切り替え！」や「スイッチを入れて！」なんて言葉もスポーツの世界では良く耳にする。これも一つの使い分けだろう。こう考えていくと・・・じゃあ「割り切り」も?? 何だか段々といい加減な解釈に陥りそうになる時もある(汗)。

考えるに場面や対象により「熱くなるところは熱く」や「冷静で客観的」な対応を要する時は頭の回転を速くして先を読む。という事を意識していきたい。

ふらっと船橋においても相談のワンストップへの対応はするが、問題全てを丸抱えするつもりはないし、丸投げを受け止めるだけの力も無い。「出来る事、出来ない事」の見極めや、何処がどの様な役割を担っているのかという認識の中で、良い意味で互いに「使い分け」を行い地域の役割を果たせたらと考える。(地域力を高められた・・・)

所長 shi・・・!

## お知らせ！！

### ●中核地域生活支援センター大会 2013

日 時：平成25年7月20日(土) 午前10時～午後4時まで  
場 所：千葉市蘇我勤労市民ホール 参加費：500円 定員：340名  
テーマ：地域社会の貧困化～生活困窮に関する支援の課題とこれから  
基調講演：厚労省社会・援護局長 村木厚子さん。 pmシンポジウム

